

事業シート（概要説明書）

予算事業名	地域資源ブランド力向上支援事業費	事業開始年度	平成13年度
上位施策事業名	農林水産業・農山漁村を起点とした新たな価値の創出	担当部局	農水商工部
根拠法令	なし	担当室	マーケティング室
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	グループ名	ブランドG
事業の必要性・実施の背景	<p>少子化、高齢化等により食等のマーケットが縮小する中であって、経済のグローバル化の進展等により、価格競争が激化する一方で、食の安全・安心に対する意識の高まりとともに、消費者ニーズの多様化が進んでおり、そのニーズに応えられるよう農林水産物の高付加価値化に向けた競争が日本全国で激化している。そういった中で、食を担う本県の農林水産業が持続的に発展していくためには、地域資源の特徴を生かした競争力ある産品等を創出・供給しようとする意欲的な事業者を支援していくことが必要である。</p>		
目的 (何をどうするために)	<p>農林水産業を取り巻く厳しい競争環境の中で、食を担う本県の農林水産業が持続的に発展できるよう、農林水産物やその加工品等の高付加価値化を図るとともに、思いのある生産者とその思いが詰まった産品により、三重県や県産品の認知度向上を図る。</p>		
目標 (何がどうなれば達成か)	<p>「顕彰、育成、発掘」のビジネス育成手法により、意欲的な事業者の新たなビジネスモデルが構築され、県内の農林水産物等の高付加価値化が図られ、多くの消費者に支持されるとともに、思いのある生産者とその思いが詰まった産品の持つメッセージ力により、三重県や県産品の認知度向上が図られている。</p>		
対象 (誰・何を対象に)	<p>地域の資源を生かして新たなビジネスに取り組む農林水産業者・食品産業事業者</p>		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者:)		
	<input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕 (補助先: 実施主体:)		
	<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		
事業内容 (手段、手法など)	<p>(1) 三重ブランド推進事業 (14,882千円) 高い認定基準を設定し、「自然の力」を最大限に生かした優良事例を、消費者の視点で「生産者」と「産品」を一緒に認定し、これらをモデルとしながら県内農林水産物等の高付加価値化を進めるとともに、三重ブランドにふさわしい思いのある生産者や思いの詰まった産品について、その背景にある歴史、自然などとあわせて情報発信し、三重県や県産品の認知度向上につなげる。</p> <p>(2) 地域資源新ビジネスモデル創出人材育成事業 (三重ブランドアカデミー) (23,200千円) 地域資源の特徴を活かして、個性的なビジネスモデルにチャレンジする意欲的な生産・製造事業者に対して、商品力やその魅力の伝達力を向上するためのノウハウを支援するとともに、事業者がそれぞれの課題やノウハウを共有するとともに、新たな取組を行うためのネットワークを強化し、三重ブランドづくりにつなげる。</p> <p>(3) 地域資源セールスポイント発見事業 (パイオトレジャー) (7,832千円) 専門家が地域資源の強みや新しい活用方法などを評価することで、ほかの産品と差別化できるポイントを顕在化させるなど、県内事業者が地域資源を活かしながらビジネスを展開することを支援し、三重ブランドづくりにつなげる。</p>		
関連事業 (同一目的事業等)	なし		

事業概要

※当該事業以下に細事業がある場合は、事業費とともに記載

事業シート（概要説明書）

予算事業名		地域資源ブランド力向上支援事業費				事業開始年度		平成13年度		
コスト	事業費	23年度（予算）		22年度（決算）		21年度（決算）		20年度（決算）		
		報償費	2,420千円	10千円	0千円	30千円				
		旅費	3,637千円	1,994千円	2,294千円	2,591千円				
		需用費	1,805千円	527千円	1,026千円	1,372千円				
		委託料	34,521千円	52,204千円	58,336千円	61,798千円				
		その他	3,531千円	1,124千円	2,244千円	871千円				
	事業費合計	45,914千円	55,859千円	63,900千円	66,662千円					
	人件費	担当正職員	4.0人	36,032千円	4.0人	38,064千円	4.0人	37,880千円	4.0人	37,372千円
		臨時職員等	0.3人	635千円	0.3人	628千円	0.3人	627千円	0.3人	620千円
		人件費合計	4.3人	36,667千円	4.3人	38,692千円	4.3人	38,507千円	4.3人	37,992千円
総事業費	82,581千円	94,551千円	102,407千円	104,654千円						
財源 内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円					
	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円					
	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円					
	一般財源	45,914千円	55,859千円	63,900千円	66,662千円					
	財源合計	45,914千円	55,859千円	63,900千円	66,662千円					
事業実績	【活動指標名】		単位	H22年度	H21年度	H20年度				
	ブランドアカデミー修了事業者数		事業者	66	50	35				
	バイオトレジャー選定数		件	46	38	33				
	三重ブランド認定事業者数		事業者	31	31	42				
	効率指標 (事業費/活動指標)	総事業費	/	支援事業者数	661	861	951			
事業成果	【成果指標名】		単位	H22年度	H21年度	H20年度				
	補助金等を利用した新商品化や展示商談会等への参加に取り組んでいる事業者数		事業者	56	41	28				
	三重ブランドホームページアクセス数(月平均)		件	14,005	13,581	19,119				
	<ul style="list-style-type: none"> ・三重ブランド認定事業者による商品を通じたPRなどにより、パイヤーや食に関するメディアに認知されるようになってきた。 ・三重ブランドアカデミー修了生が魚価向上につなげるため、地元で新工場を設立して地魚の加工品開発を進めるとともに、首都圏で自社商品及び県内事業者の商品を販売する店舗を開店した。 ・バイオトレジャーに選定された素材を活用して、地域で商品開発が進んだり、観光誘客につながっている事例が出てきた。 									
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)		<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活用した優れたビジネスモデル（三重ブランド11品目、31事業者認定）、売れる商品づくりをめざす意欲的な事業者（ブランドアカデミー修了66事業者）、新しい切り口での資源活用事例（バイオトレジャー46件選定）を育成するなど、農林水産資源等の高付加価値化やブランド化に向けた積極的な取組が進んでいるが、ブランド化には時間が必要である。 ・県農林水産物の付加価値の向上をめざす新しいビジネスモデルを育成するためには、さらなる特徴ある地域資源の発掘やそうした資源の高付加価値化に取り組む人材の育成、ブランド化に成功した事業者に対する積極的な評価や情報発信が必要である。 ・三重県産品の認知度向上を図るために、三重ブランドをはじめとする三重県を代表する事業者や産品を活用した情報発信を継続・強化する必要がある。 								
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		<ul style="list-style-type: none"> ・高知県：三重ブランドアカデミー事業を参考にして、同様の人材育成に取り組んでいる。 ・富山県：三重ブランド認定制度を参考にして、ブランド認定制度を創設し情報発信を行っている。 								
特記事項 (事業の沿革等)		なし								